

# 図書館要覧

令和2年度

古賀市立図書館  
Koga City Public Library

# 目 次

1.	古賀市の概要	2
2.	施設の概要	3
3.	古賀市立図書館の沿革	4
4.	図書館の活動目標	8
5.	資料収集方針	9
6.	図書館の組織 予算・決算	10
7.	蔵書構成	11
8.	図書館の利用案内	12
9.	図書館の利用状況	13
10.	雑誌・新聞タイトル一覧	16
11.	平成31年度事業報告及び令和2年度事業計画	17
12.	読書活動事業	20
13.	地域文庫紹介	24
14.	条例・施行規則	26
15.	古賀市図書館協議会	33

# 1. 古賀市の概要

古賀市は福岡県の北西に位置し、東に犬鳴の山々、西に玄界灘を望みその海岸線は美しい白砂青松の海岸を擁し、42.07 km<sup>2</sup>の面積を有しています。緑深き山々を水源として流れ出す大根川と青柳川は東部に広がる田園を潤して玄界灘へ注ぎ、犬鳴山系の最高峰「西山」は標高645m、宮若市との境にあり素晴らしい眺めを楽しめ、山と川、海に育まれた豊かな自然環境にあります。

さらに、平成25年3月には、谷山北地区遺跡群の発掘調査で、古墳時代の金銅装の馬具一式や武具・農具が出土しました。これらが発掘された「船原古墳」は、専門家からも「非常に貴重で重要な発見」と注目されており、平成28年10月に国の史跡に指定されました。

また、奈良・平安の時代には都から大宰府へ通じる官道が通り、近世では唐津街道、現在は九州自動車道、JR 鹿児島本線、国道3号、495号線が走り、古賀市は今も昔も交通の要衝となってきました。

そして、この交通の利便性ととも、福岡市、北九州市両政令指定都市の中間地という地理的条件に恵まれている古賀市には多くの企業が進出し、製造品出荷額も県内9位で、県下有数の工業力を有しています。

人口も平成6年には5万人を超え、平成9年には市制を施行し古賀市が誕生、現在では、人口も6万人に迫り、福岡都市圏の中核都市として、その役割を担っています。

この恵まれた環境のもと、「つながり にぎわう 快適安心都市 こが～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～」をまちづくりの将来像にかかげ、さまざまな施策を展開してきましたが、古賀市の特徴である交通の利便性や豊かな自然、誇れる歴史遺産、県下有数の工業力などを生かし、さらに「住んで良し」、「子育てして良し」、「働いて良し」の『選ばれるまち』をめざしたまちづくりに取り組んでいます。

## 古賀市

ひとのデータ	
人口	: 59,658人 (+424)
男性	: 28,614人 (+194)
女性	: 31,044人 (+230)
世帯数	: 26,085世帯(+597)
データ	2020年3月31日現在



## 2. 施設の概要 (令和2年4月現在)

### (1) 所在地

〒811-3103 古賀市中央二丁目13番1号  
TEL 092-942-2561 FAX 092-944-0918

### (2) 施設の概要

「古賀市生涯学習センター（通称：リーパスプラザこが） 古賀市立図書館」  
(平成28年8月1日 古賀市生涯学習センター条例施行により名称変更)

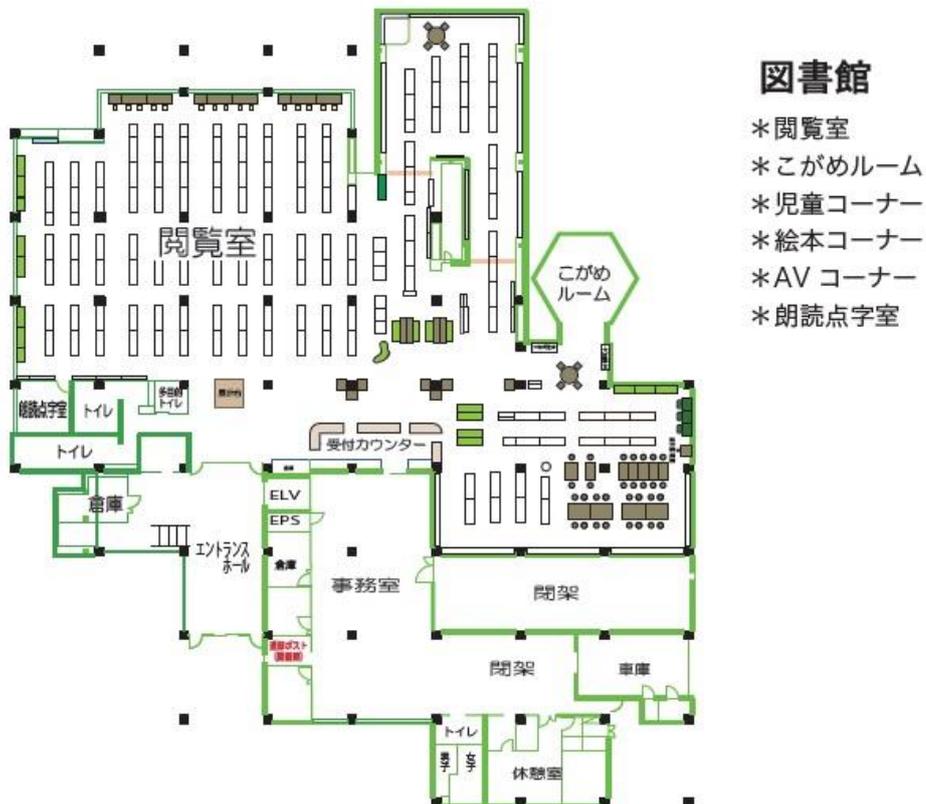
生涯学習センターの構成

- ①古賀市中央公民館 ②古賀市立図書館 ③古賀市立歴史資料館 ④古賀市交流館  
※古賀市交流館の新設に伴い、①～④の各施設が連絡通路等で結ばれ、生涯学習の拠点となる。

平成6年11月1日「サンフレアこが（複合文化施設）」として開館

建築面積	2,063.28㎡
延床面積	3,607.744㎡（図書館部分1階 1862.287㎡）
構造	鉄筋コンクリート造地上2階
増築	平成16年8月31日（こがめルーム 36㎡）
増床	平成28年1月15日（150㎡）

### (3) 施設の図面



### 3. 古賀市立図書館の沿革

年号	年	月	事	跡
大正	12		席内尋常小学校の敷地内に席内村立図書館（薄図書館）創立	 <p>すすき じょいち 薄 恕一 (1866~1956) 席内村に図書館を設置寄贈して “古賀市立図書館の礎”を築いた</p>
昭和	8		文部省より席内村立図書館表彰	
	20		終戦により席内村立図書館廃館	
	22	5	学校教育法施行規則により町内各小・中学校に 学校図書館を設置し活発な活動が始まる	
	36	5	古賀東小学校「西日本母と子の読書会」誕生	
	37	3	町内小学校4校「古賀町母と子の20分間読書」結成	
	44	8	第1回「古賀町母と子の読書のつどい」開催	
	48	4	古賀町図書館設置条例施行	
			図書館司書を正式配置開始（青柳小学校、小野小学校、町立図書館）	
		9	古賀町図書館の管理と運営に関する規則施行	
	10		古賀町立図書館 蔵書 3,757 冊で開館し、館外貸出を開始 初代館長 中村 隆則 就任	
	53		最初の地域文庫「たけのこ文庫」開設 「どうようおはなし会」開始	
	54	5	「えほん研究会」開始（平成5年4月終了）	
		10	「かめの子文庫」開設（平成元年12月閉鎖）	
	55	2	「れんげ草文庫」開設（平成2年4月閉鎖）	
	57	4	第二代館長 渋田 近 就任	
	59	5	「子どもの本をよむ会」開始（平成5年4月終了）	
		7	「花鶴丘3丁目文庫」（現「あすなる文庫」）開設	
	62	4	第三代館長 村山 競 就任	
	63	4	「ひばり文庫」開設（平成21年7月閉鎖）	
平成	元	6	「しらさぎ文庫」開設	
	2	3	「コスモス文庫」開設	
	4	8	古賀町複合文化施設建設検討委員会を設置	
	5	4	第四代館長 八尋 七郎 就任	
		9	新図書館着工	
		12	「こじか文庫」開設	
	6	4	新図書館移転業務のため図書館休館 10月まで	
		6	図書館利用者カード事前登録開始	
		8	新図書館竣工	
		10	コンピュータ導入による図書館システムを開始 新図書館オープンセレモニー	
		11	古賀町複合文化施設設置条例施行。施設名を「サンフレアこが」と称し、 1階に「古賀町立図書館」、2階に「古賀町立歴史資料館」を設置 新図書館を開館し、貸出開始 蔵書 93,630 冊 「星の子文庫」開設	
		12	AV資料貸出開始	
	7	4	第五代館長 安武 敏夫 就任	

年号	年	月	事 跡
	7	12	日曜日半日開館から一日開館へ
	8	1	蔵書 10 万冊を超える
		3	県立図書館とネットワーク (FL ネット) を結ぶ
		4	第六代館長 村山 間 就任
		10	読書講座開講 (年 5 回)
		11	第 1 回図書館まつり開催
		12	「名画会」開始
	9	3	蔵書冊数 123,096 冊となる (雑誌・AV 含む)
		7	「子ども映画会」開始
		8	貸出冊数 10 冊 開始
		10	市制施行により古賀市立図書館となる
	10	3	蔵書冊数 136,071 冊となる (雑誌・AV 含む)
	11	3	蔵書冊数 146,657 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	図書館コンピュータ機器更新 粕屋地区公共図書館等 配本車事業開始 (相互貸借)
		5	読書講座開講 (11 年度より年 10 回)
	12	3	蔵書冊数 164,952 冊となる (雑誌・AV 含む)
		11	HP 開設
	13	3	蔵書冊数 170,055 冊となる (雑誌・AV 含む)
		10	「どうようおはなし会」 500 回となる
	14	3	蔵書冊数 183,702 冊となる (雑誌・AV 含む)
		8	福岡都市圏公共図書館等広域利用開始
	15	3	蔵書冊数 192,723 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	図書館資料データ変更 (OPL データを TRC データに)
		8	ブックスタート事業開始 (健康づくり課、こども政策課、市立図書館との合同事業)
	16	2	福岡県図書館情報システム (ILL) 参加
		3	図書館コンピュータ機器更新、蔵書冊数 204,603 冊 (雑誌・AV 含む)
		4	第七代館長 小西 欣也 就任
			古賀市親子読書会「子どもの読書活動 優秀実践団体の部」文部科学大臣表彰
		5	インターネット端末 (2 台) 提供開始、Web での蔵書検索可能となる
		9	市民の寄付による「こがめルーム」増設 (36 m <sup>2</sup> )
	17	3	盗難防止用ゲート設置、蔵書冊数 207,448 冊 (雑誌・AV 含む)
		4	青少年アンビシャス運動「本のわくわく探検事業」開始
		9	「おはなしのへや」撤去工事
	18	3	蔵書冊数 213,921 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	「古賀市子ども読書活動推進計画」策定 古賀市立図書館「子どもの読書活動 優秀実践図書館の部」文部科学大臣表彰 データベース情報提供開始 (聞蔵Ⅱ、ジャパンナレッジ)
		6	「赤ちゃんおはなし会」開始
		10	青少年アンビシャス運動「本のわくわく探検事業・福岡地区読書研修会」開催



旧町立図書館

年号	年	月	事 跡
	19	3	蔵書冊数 213,301 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	第八代館長 簗原 弘二 就任 図書館利用者カード再発行有料化
		10	青少年アンビシャス運動「本のわくわく探検事業 読書フォーラム」開催
		11	市制施行 10 周年記念「第 12 回図書館まつり」開催
	20	3	蔵書冊数 208,392 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	第九代館長 木戸 一雄 就任
		10	図書館マスコット「ことちゃん」決定 「小さい子のおはなし会」開始
	21	3	蔵書冊数 212,124 冊となる (雑誌・AV 含む)
		7	古賀市複合文化施設運営協議会設置 布の絵本ボランティア「つくしんぼ」発足
	22	3	蔵書冊数 222,475 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	IC タグ導入開始 (新刊)
		6	IC タグ対応盗難防止用ゲート設置 図書館管理システム更新 (LiCS-Re へ)
		7	IC タグ貼付作業開始 (所蔵資料 22 万冊対象 県緊急雇用創出事業) 「24 時間テレビ 愛は地球を救う」から拡大読書機、 デイジー再生機が寄贈され、朗読点字室に設置
		10	IC タグ貼付作業終了
		11	自動貸出機導入
	23	3	蔵書冊数 225,251 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	第十代館長 矢野 博昭 就任
		10	「赤ちゃんおはなし会」2 部制開始
	24	2	Web 予約開始
		3	蔵書冊数 222,683 冊となる (雑誌・AV 含む)
		5	データベース情報提供開始 (法情報総合データベース) 名画会 200 回記念開催 (平成 8 年 12 月から)
		7	「どようおはなし会」1,000 回記念開催 (昭和 53 年 6 月から)
		9	J R 古賀駅に「図書返却ポスト」設置
		10	「古賀市子ども読書活動推進計画」改訂
		11	レファレンスデスク設置
	25	1	「赤ちゃんおはなし会」100 回記念開催 (平成 18 年 6 月から)
		3	蔵書冊数 226,171 冊となる (雑誌・AV 含む)
		6	情報提供ラック事業開始
	26	3	蔵書冊数 228,227 冊となる (雑誌・AV 含む)
		4	第十一代館長 梅谷 悦二 就任
	27	3	蔵書冊数 229,252 冊となる (雑誌・AV 含む)
		8	空調・照明改修及び増床工事のため閉館
		9	臨時図書館開館
		12	臨時図書館閉館



図書館マスコット  
「ことちゃん」

年号	年	月	事 跡
平成	28	1	空調・照明改修及び増床工事完成（増床 150 m <sup>2</sup> ） 図書館マスコット「ことちゃん」の着ぐるみ寄贈（コスモス文庫 村山美和子氏より） 図書館管理システム更新（LiCS-Re2 へ）
		2	図書館リニューアルオープン
		3	法情報総合データベース提供終了 蔵書冊数 229,499 冊となる（雑誌・AV 含む）
		4	データベース情報提供開始（ルーラル電子図書館） 雑誌スポンサー制度開始 読書ノート事業開始
		5	セカンドブック事業開始
		7	古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会設置 「古賀市複合文化施設サンフレアこが 市立図書館」の名称廃止〔古賀市複合文化施設条例廃止〕 古賀市複合文化施設運営協議会の廃止〔古賀市複合文化施設運営協議会設置規則廃止〕
		8	「古賀市生涯学習センター（通称：リーパスプラザこが）古賀市立図書館」へ名称変更〔古賀市生涯学習センター条例施行〕 古賀市図書館協議会設置 古賀市中中学生読書サポーター養成講座実施
		1	「小さい子のおはなし会」100 回達成（平成 20 年 10 月から）
		2	「赤ちゃんおはなし会」200 回達成（平成 18 年 6 月から）
		3	蔵書冊数 232,771 冊となる（雑誌・AV 含む）
		4	学校図書館市民開放用一般図書の配本開始
		10	「第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画」策定
		平成	30
3	蔵書冊数 238,000 冊となる（雑誌・AV 含む）		
令和	元	4	第十二代館長 久保田 了司 就任
		7	サンリブ古賀店に「図書返却ポスト」設置
		10	古賀市立図書館移転開館 25 周年記念 「直木賞受賞作家 東山彰良さん読書講演会」開催 「移転開館 25 周年の歩み」パネル展 開催 「移転開館 25 周年記念図書館バッグ」販売
		2	蔵書冊数 229,997 冊となる（雑誌・AV 含む）
令和	2	3	蔵書冊数 229,997 冊となる（雑誌・AV 含む）
		4	第十三代館長 長崎 功一 就任



図書館マスコット  
「ことちゃん」の着ぐるみ

## 4. 図書館の活動目標

### 図書館の運営方針

- 市民の「知る自由」を保障し、生涯学習を支援する情報センターとしての図書館
- 地域の情報拠点として市民の暮らしに役立ち、豊かな心を育てる図書館
- 社会の変化や地域の実情に応じ、市民とともに成長し、市民に信頼され支持される図書館

### 令和2年度の活動目標

- 市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンス・サービス（情報提供等）の実施
- 郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供の実施
- 「第3次古賀市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、家庭・地域、読書ボランティア団体、学校等と連携した読書活動の推進
- 「読書ボランティア養成講座」「暮らしの講座」「図書館まつり」等の事業の実施
- 福岡県内各公共図書館等及び国立国会図書館との総合ネットワークの活用
- 学校図書館市民開放用一般書の配本による学校開放支援



「知恵の冒険」 作 望月 菊麿

## 5. 資料収集方針

古賀市立図書館資料収集方針

(平成26年3月 古賀市教育委員会告示)  
(改正 平成28年7月 古賀市教育委員会告示)

(趣旨)

第1条 この方針は、図書館法（昭和25年法律第118号）第3条第1号に規定する事業を十分かつ円滑に運営するため、古賀市立図書館（以下「図書館」という。）における資料の収集に関し、必要な事項を定めるものとする。

(基本方針)

- 第2条 図書館は、市民（図書館の利用者を含む。以下同じ。）の基本的人権の一つである知る自由を社会的に保障する機関の一つであることに鑑み、市民が必要としその知的関心を刺激する多様な資料を図書館の責任において豊富に揃え、提供するよう努めるものとする。
- 2 図書館は、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資する資料を収集するものとする。
- 3 図書館は、資料の収集に当たっては、市民の要望並びに社会の要請及び地域の実情を踏まえ、組織的かつ系統的に行うものとする。
- 4 図書館は、収集する資料が持つ思想や主張は読者である一人ひとりの市民の自由な思索と判断に委ねられていることに鑑み、資料の収集を中立かつ公正な立場で行うものとする。
- 5 図書館は、市民の知的関心に応える証としてこの収集方針を公開し、広く市民の理解と協力を得て、市民の資料要求に応えられる蔵書を構成するものとする。
- 6 図書館員は、前各項の規定の趣旨を十分に理解するとともに、この収集方針に則って資料の収集に当たらなければならない。

(収集資料の種類)

第3条 収集する資料の種類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 図書
- (2) 逐次刊行物
- (3) 行政資料
- (4) 郷土資料
- (5) 視聴覚資料
- (6) 障がい者用資料
- (7) その他前条第2項に規定する資料

(資料収集の留意点)

第4条 資料収集については、次に掲げる事項に留意するものとする。

- (1) 多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集すること。
  - (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしないこと。
  - (3) 図書館員の個人的な関心や好みによって選択しないこと。
  - (4) 個人、組織、団体からの圧力や干渉によって、収集の自由を放棄したり、紛糾を恐れて自己規制したりしないこと。
- 2 寄贈図書の入りに当たっても前項各号に掲げる事項に留意するものとする。

(資料の選定方法)

第5条 資料の選定調整を行うため、図書館員で構成する図書館資料選定委員会を設置する。

- 2 資料の選定調整を行う場合には、あらかじめ前項の図書館資料選定委員会の議決を経るものとする。
- 3 図書館長は、前項の議決の結果を十分に尊重し、資料の選定に当たるものとする。

(蔵書の更新)

第6条 図書館は、常に新鮮で適切な蔵書構成を維持し、充実させるために資料の更新を行うものとする。

- 2 開架書架においては、次に掲げる事項に留意するものとする。
  - (1) 利用の可能性が少なくなった資料、新たな資料によって代替できる資料及び古くなった資料は閉架書庫に移すこと。
  - (2) 将来の利用や資料価値がない資料は除籍すること。
  - (3) 頻繁に利用される資料が破損等のために利用に供することができなくなったときは、同一資料の買い替え等の更新を行うこと。

(市民の要望及び意見の尊重)

第7条 市民の蔵書に関する要望及び意見については、広くこれを収集し、蔵書構成の充実に役立てるよう努めるものとする。

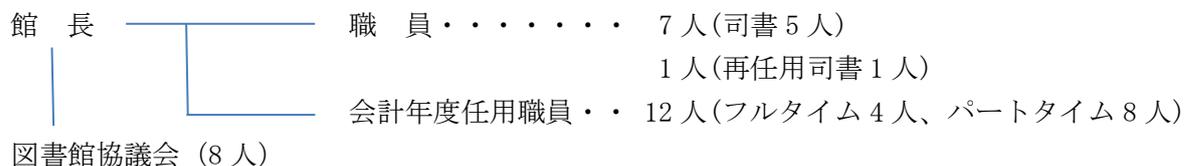
(委任)

第8条 この収集方針に定めるもののほか、資料収集に関し必要な事項は、図書館長が定める。

## 6. 図書館の組織 予算・決算

### 組 織

(令和2年4月現在)



	区 分	事 務 分 掌
1	館 長	図書館全般の統括、渉外
2	係 長	図書館の総合的な管理・運営、図書館業務の総括指導
3	職 員	図書館業務の調整 図書館資料に関すること（選択、収集、組織化、除籍） ・図書 ・雑誌 ・新聞 ・AV資料 ・郷土資料 カウンター業務（貸出、返却、利用者登録、予約、複写、レファレンス業務など） 行事等の立案、企画・運営（読書講座、名画会、講演会、図書館まつりなど） 図書館広報 子ども読書活動推進（おはなし会、ブックスタート、セカンドブック、赤ちゃんおはなし会、小さい子のおはなし会など） 諸団体との連携（学校図書館、親子読書推進活動支援、地域文庫、読書ボランティア） 見学、職業体験・インターンシップ等の受入 督促 一般事務、予算管理

### 予算・決算

歳出 10款6項4目 図書館費

経 費		平成31年度決算額	令和2年度予算額	摘 要
	図書館費総額 (A+B+C)	103,455,055	111,850,000	
A	人件費	73,763,386	82,907,000	職員9人、 会計年度任用職員12人
B	資料費 (a + b + c)	15,811,131	15,257,000	
	a 図書費	13,499,929	12,629,000	
	b 雑誌・新聞費	1,812,711	1,920,000	
	c 視聴覚資料費	498,491	708,000	
C	その他の費用	13,880,538	13,686,000	

## 7. 蔵書構成

(令和2年3月31日現在)

図書館の資料点数は次の通りです。

区分	一般書	児童書	図書計	AV資料	総合計	雑誌
資料数	154,489	68,512 (2,436)	223,001	6,996	229,997	169タイトル (6,472冊)

※児童書の（ ）内は紙芝居・パネルシアター、大型絵本、布絵本の蔵書数

冊子268冊は一般書に含む

AV資料は、ビデオ、DVD、LD、CD、カセットブックを含む

☆ その他の資料

朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、読売新聞、西日本新聞、産経新聞、The Japan Times、週刊読書人、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、夕刊（日本経済、西日本）、高校生新聞

☆ 他、パンフレット類

### 分類別蔵書数

(令和2年3月31日現在)

種類	分類	蔵書数	種類	分類	蔵書数
一般書	0 総記	5,021	児童書	8 言語	1,108
	1 哲学	5,331		9 文学	22,323
	2 歴史	15,280		E 絵本	28,008
	3 社会科学	20,357		紙芝居・パネルシアター・大型絵本・布絵本	2,436
	4 自然科学	10,710		小 計	68,512
	5 技術	13,920		図書合計	
	6 産業	5,155	AV資料	VT ビデオテープ	445
	7 芸術	16,682		CD	4,064
	8 言語	2,907		LD	0
	9 文学	58,858		CB カセットブック	432
	小 計	154,221		DVD	2,055
冊子	268	CD-ROM	0		
児童書	0 総記	493	AV合計		6,996
	1 哲学	442	逐次刊行物		
	2 歴史	1,764	雑誌(タイトル数)	169タイトル	
	3 社会科学	2,748	新聞(1年間保存)	11紙	
	4 自然科学	4,321			
	5 技術	1,589			
	6 産業	1,073			
	7 芸術	2,207			

## 8. 図書館の利用案内

古賀市民及び市立図書館利用者（以下「利用者」という。）に、図書、新聞、雑誌、AV 資料などを提供し、読みたい本のリクエストに応じるため予約サービスを行う。また、利用者からの質問に応じレファレンス・サービス等を行う。

- 1 開館時間 火曜日～日曜日 午前 10 時～午後 6 時
- 2 休館日 毎週月曜日  
月曜日が祝日の時は開館し、翌平日休館  
第 4 木曜日（図書及び資料等の整理日）  
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、特別整理期間
- 3 貸出要件 古賀市民及び市内に通勤・通学している人、  
または福岡都市圏に住んでいる人
- 4 貸出冊数 図書は 1 人 10 冊まで（雑誌、紙芝居含む）  
その他にビデオ又は DVD は 1 点、CD・カセットブックは各 2 点以内
- 5 貸出期間 図書は 15 日間  
雑誌、AV 資料（ビデオ、DVD、CD、カセットブック）は 8 日間
- 6 貸出方法 NEC 図書館管理システム LiCS-Re2 による電算処理
- 7 サービス リクエスト、レファレンス、インターネット検索、コピー
- 8 読書活動 おはなし会、読書講座、読書講演会、親子読書推進活動支援、本の展示、広報等
- 9 文庫育成 地域の文庫活動を援助し、相互に子ども読書活動を推進する
- 10 団体貸出 市内の学校、保育所、学童保育所、読書ボランティア、福祉施設などの団体に 1 回 100 冊まで 30 日間貸出しをする

## 9. 図書館の利用状況

(平成 31 年度)

※令和 2 年 3 月の閉館について

3 月 2 日～23 日 新型コロナウイルス感染症対策のため

(3 月 2 日～9 日は蔵書点検期間) 3 月 30 日、31 日 整理休館日

### (1) 利用状況

月	開館 日数	貸出冊数	一日平均 貸出冊数	利用者人数	入館者人数	登録者人数
4	24	28,793	1,200	7,771	12,905	185
5	26	31,182	1,199	8,301	13,298	134
6	25	32,775	1,311	8,711	14,275	144
7	25	33,011	1,320	8,798	15,811	167
8	26	33,267	1,280	8,708	16,362	192
9	24	29,368	1,224	7,822	13,774	110
10	26	30,624	1,178	8,286	15,203	116
11	25	28,804	1,152	7,838	13,445	103
12	23	26,375	1,147	6,973	11,058	88
1	21	28,843	1,373	7,141	11,335	91
2	24	33,044	1,377	7,982	13,805	94
3	7	10,556	1,508	2,149	2,784	36
合計	276	346,642	—	90,480	154,055	1,460
平均(月)		28,886.8	—	7,540.0	12,837.9	121.7
平均(日)		1,255.9	—	327.8	558.2	5.3

### (2) 貸出状況

月	開館 日数	貸出数				合計
		一般書(冊子含)	児童書	雑誌	A V	
4	24	15,191	10,211	1,652	1,739	28,793
5	26	17,494	10,072	1,685	1,931	31,182
6	25	17,278	11,905	1,735	1,857	32,775
7	25	16,603	12,822	1,685	1,901	33,011
8	26	16,795	13,037	1,656	1,779	33,267
9	24	15,638	10,468	1,688	1,574	29,368
10	26	16,537	10,788	1,764	1,535	30,624
11	25	15,538	10,255	1,518	1,493	28,804
12	23	14,196	9,232	1,578	1,369	26,375
1	21	15,461	10,306	1,613	1,463	28,843
2	24	17,574	12,049	1,825	1,596	33,044
3	7	5,519	4,158	480	399	10,556
合計	276	183,824	125,303	18,879	18,636	346,642
平均(月)		15,318.7	10,441.9	1,573.3	1,553.0	28,886.8
平均(日)		666.0	454.0	68.4	67.5	1,255.9

### (3) 市内地区別登録状況

校区	人口	0～ 6歳	7～ 12歳	小計	13～ 15歳	16～ 18歳	小計	19～ 22歳	23～ 30歳	31～ 40歳	41～ 50歳	51～ 60歳	61～ 99歳	小計	合計	%
青柳	5,998	42	100	142	54	68	122	44	89	176	188	111	303	911	1,175	20
小野	6,680	69	179	248	83	74	157	73	121	260	281	184	483	1,402	1,807	27
古賀東	8,918	118	211	329	130	116	246	139	204	435	438	248	835	2,299	2,874	32
古賀西	9,806	121	206	327	115	104	219	123	231	440	485	292	840	2,411	2,957	30
花鶴	7,879	119	310	429	140	100	240	75	114	367	462	186	681	1,885	2,554	32
千鳥	5,753	57	107	164	84	69	153	69	96	209	243	194	348	1,159	1,476	26
花見	8,646	90	237	327	124	109	233	103	178	356	441	246	581	1,905	2,465	29
舞の里	5,978	64	148	212	68	58	126	83	155	298	293	319	770	1,918	2,256	38
市内計	59,658	680	1,498	2,178	798	698	1,496	709	1,188	2,541	2,831	1,780	4,841	13,890	17,564	29

### (4) 市外登録者数・貸出冊数

地区	登録者数		貸出冊数	
	平成31年度	平成30年度	平成31年度	平成30年度
新宮町	805	801	11,702	14,751
久山町	20	22	513	481
粕屋町	14	18	76	53
篠栗町	24	30	236	321
宇美町	10	9	4	3
志免町	11	9	10	14
須恵町	8	5	13	28
福津市	806	813	6,531	7,176
宗像市	261	270	1,671	1,995
太宰府市	5	8	8	9
大野城市	7	10	68	157
筑紫野市	8	6	67	72
春日市	10	12	20	32
那珂川市	4	4	3	0
糸島市	5	5	0	0
福岡市	927	956	12,180	12,563
福岡市 (東区)	(798)	(829)	(11,130)	(11,678)
その他市町村	34	28	359	318
合計	2,959	3,006	33,461	37,973
前年度比較	47人減		4,512冊減	

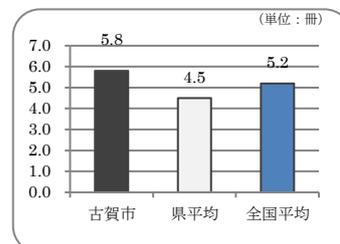
### (5) 相互貸借

相手館名称	借受冊数	貸出冊数
新宮町立図書館	45	87
久山町民図書館	2	20
粕屋町立図書館	78	51
篠栗町立図書館	28	57
宇美町立図書館	16	36
志免町立町民図書館	47	42
須恵町立図書館	38	13
福津市立図書館	34	34
カメラiasステージ図書館	0	7
宗像市民図書館	8	76
糸島市図書館	56	44
大野城まどかぴあ図書館	25	29
春日市民図書館	35	29
太宰府市民図書館	17	9
筑紫野市民図書館	33	18
那珂川市図書館	21	30
福岡県立図書館	225	122
福岡市総合図書館	27	29
その他図書館	356	1,085
合計	1,091	1,818

(6) 団体貸出	133 団体	貸出冊数	12,006 冊
(7) 予約	7,551 冊		
(8) リクエスト	1,578 件		
(9) レファレンス・サービス	7,031 件	(注：3,995 + 3,036)	
(10) インターネット情報提供	385 件		
(11) コピーサービス	2,447 枚		
(12) サービス指数			

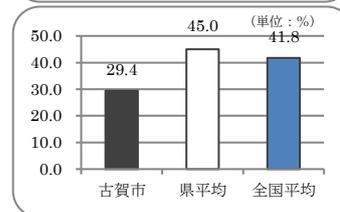
[1] 市民1人当たりの貸出冊数 (広域含む)

貸出冊数／人口  
346,642 冊／59,658 人 = 5.8 冊



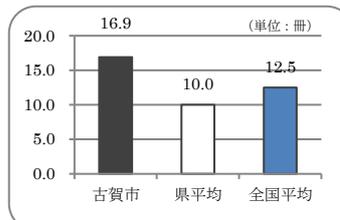
[2] 登録率

市内登録者数／人口  
17,564 人／59,658 人 = 29.4%  
※古賀市では有効期限終了後、3年間の貸出がない場合、利用者登録を除籍しています



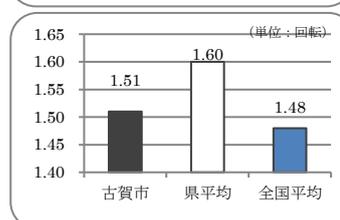
[3] 登録者1人当たりの貸出冊数 (広域含む)

貸出冊数／登録者数  
346,642 冊／20,523 人 = 16.9 冊



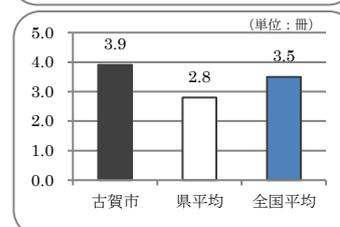
[4] 蔵書回転率 (1冊の本が何回転したか?)

貸出冊数／蔵書数  
346,642 冊／229,997 冊 = 1.51 回転



[5] 市民1人当たり蔵書数

蔵書数／人口  
229,997 冊／59,658 人 = 3.9 冊



[6] 行政効果

図書館資料平均単価×貸出冊数－決算＝税金の還元  
1,800 円×346,642 冊－103,455,055 円＝520,500,545 円

古賀市民は本を借りることによって、1年間に約5億2,050万円分のサービスを受けたことになり、市民1人当たり8,725円の税金、1世帯当たり19,954円の税金を還元したことになります。

※国、県の実績は「日本の図書館 2019 統計と名簿」の数値  
 ※図書の購入平均単価は、平成31年度古賀市立図書館購入費による平均購入単価  
 ※古賀市人口59,658人、世帯数26,085世帯(令和2年3月末現在)

※(9)レファレンス・サービスについては、口頭でのレファレンスに他館からの所蔵調査を加えた件数になっています。

# 10. 雑誌・新聞タイトル一覧

令和2年3月31日現在

あ	1	AERA	66	kodomoe★	131	俳句界 保存のみ 受入終了
	2	AERA with Kids	67	子どもと読書	132	HERS
	3	アクアライフ	68	子供の科学	133	母の友
	4	アニメージュ	69	こどものとも	134	PHP★
	5	安心	70	こどものとも 012	135	Piccolo
	6	&Premium	71	こどものとも(年少版)	136	美術の窓
い	7	一個人	72	こどものとも(年中向き)	137	ひよこクラブ★
う	8	うかたま	73	子どもの本棚	138	フォトコン
	9	美しいキモノ	74	この本読んで!	139	ふくおか経済
え	10	栄養と料理	75	コラム歳時記	140	婦人公論
	11	SFマガジン	76	財界九州★	141	婦人之友
	12	ESSE	77	サッカーマガジン	142	プレジデント
	13	NHKきょうの健康★	78	茶道雑誌	143	文学界
	14	NHKきょうの料理	79	サライ	144	文藝春秋
	15	NHK趣味の園芸	80	サンデー毎日	145	Pen
	16	NHK将棋講座	81	JJ	146	本の雑誌
	17	NHKすてきにハンドメイド	82	JTB大きな時刻表	147	毎日が発見
	18	NHKみんなのうた	83	シティ情報ふくおか	148	Mac Fan
	19	FQ JAPAN	84	じゃらん	149	MAMOR マモル 寄贈
	20	ELLE ジャパン	85	週刊朝日	150	Mr. PC
	21	LDK	86	週刊金曜日	151	ミセス
	22	園芸ガイド	87	週刊ダイヤモンド	152	ミセスのスタイルブック
	23	えんぶ	88	週刊日録20世紀 県指定保存	153	MEN'S NON・NO
お	24	OCEANS	89	週刊日本の街道 保存のみ 発行終了	154	MORE
	25	おひさま 保存のみ 発行終了	90	週刊パーゴルフ	155	文字の大きな時刻表
	26	オール読物	91	週刊ベースボール	156	モーターサイクリスト
	27	オレンジページ	92	趣味の山野草	157	モダンリビング
	28	音楽の友	93	小説すばる	158	モノ・マガジン
か	29	会社四季報	94	消費と生活	159	やさい畑★
	30	カーサ ブルータス★	95	新潮	160	山と溪谷
	31	かぞくのじかん★	96	スクリーン	161	ゆうゆう
	32	学校図書館	97	Sports Graphic Number	162	ラグビーマガジン
	33	学校図書館速報版	98	曇	163	ラジオ深夜便
	34	家庭画報	99	正論	164	ランナース
	35	ガーデンアンドガーデン(FG出版)	100	世界	165	LEE
	36	ガバナンス	101	Seventeen	166	リベラシオン・人権研究ふくおか 寄贈
	37	Car magazine	102	Tarzan★	167	ルアー・マガジン
き	38	季刊子どもと昔話	103	旅の手帖	168	レタスクラブ
	39	季刊のぼろ	104	ダ・ヴィンチ	169	Wan
	40	キネマ旬報	105	たまごクラブ		
	41	九州Walker	106	短歌		
	42	九州王国 寄贈	107	淡交		
く	43	くらしとおかね 県指定保存	108	DANCE MAGAZINE		
	44	暮しの手帖★	109	dancyu		
	45	CREA	110	ちいさなかがくのとも		
	46	クロワッサン	111	中央公論		
	47	群像	112	Discover Japan		
け	48	芸術新潮	113	鉄道ジャーナル		
	49	毛糸だま	114	鉄道ファン		
	50	月刊エアライン	115	テニスマガジン		
	51	月刊かがくのとも	116	天然生活 保存のみ 受入終了		
	52	月刊クーヨン★	117	ドゥーパ!		
	53	月刊碁ワールド	118	特選街		
	54	月刊たくさんのふしぎ	119	図書館雑誌 協会による情報雑誌の提供		
	55	月刊天文ガイド	120	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版		
	56	月刊Newsがわかる	121	西日本文化 寄贈		
	57	月刊はかた 寄贈	122	日経WOMAN		
	58	月刊バスケットボール	123	日経エンタテイメント!		
	59	月刊VOLLEYBALL	124	日経トレンドイ		
	60	月刊Piano	125	日経ヘルス		
	61	月刊武道 寄贈	126	日経マネー		
	62	月刊ホークス	127	日本児童文学		
	63	月刊MOE	128	Newton		
	64	現代農業	129	猫びより		
こ	65	皇室 寄贈	130	俳句		

雑誌 計 169タイトル	
内訳	平成31年度 購入 144タイトル
	県保存指定 2タイトル
	保存のみ 発行終了 2タイトル
	保存のみ 受入終了 2タイトル
	寄贈 7タイトル
	雑誌スポンサー 11タイトル
協会による情報雑誌の提供 1タイトル	

新聞 (11紙)	
1	朝日新聞 (朝刊)
2	産経新聞 (朝刊)
3	毎日新聞 (朝刊)
4	読売新聞 (朝刊)
5	日本経済新聞 (朝刊、夕刊)
6	西日本新聞 (朝刊、夕刊)
7	朝日中高生新聞
8	朝日小学生新聞
9	週刊読書人
10	The Japan Times
11	高校生新聞 寄贈

新聞 11紙  
(寄贈 1紙)

★は、雑誌スポンサーで提供いただいた雑誌

# 11. 平成31年度事業報告及び令和2年度事業計画

## (1) 平成31年度事業報告

月	日	曜日	事業	場所	参加者数
4	20	土	子どもお楽しみ貸出し袋 子どもむけ 20.21日	図書館	44袋
			「えいごでおはなし会」 講師: オング・メラニーさん(学校教育課外国語指導助手)	歴史資料館中会議室	54人
	21	日	「やってみよう!子ども科学実験」 講師: 伊藤 克治 さん(福岡教育大学理科教育ユニット教授)	歴史資料館中会議室	63人
4月中旬～5月中旬			新小学一年生 読書ノート配布とおはなし会 ※希望する学校へは、図書館キャラクターこちゃん訪問	市内各小学校	約600人
6	2	日	本とあそぼう全国訪問おはなし隊(講談社) 図絵本をのせたキャラバンカーがやってくる～	リーバスプラザこが駐車場 歴史資料館中会議室	63人
	16	日	読書ボランティア養成講座① 「読み聞かせのたいせつさや本の選び方などの講義」 講師: 八尋 理恵さん(太宰府おはなし会代表)	歴史資料館中会議室	17人
	23	日	読書ボランティア養成講座②「読み聞かせの実技」 講師: 八尋 理恵さん(太宰府おはなし会代表)	歴史資料館中会議室	17人
7	21	日	おはなし会スペシャル (市内地域文庫6団体)	歴史資料館中会議室	95人
	26	金	小学生むけおはなし会	こがめルーム	13人
8	1	木	中学生読書サポーター養成講座①読み聞かせ講座 講師: 古賀子どもの本の交流会のみなさん	歴史資料館中会議室	4人
	7	水	中学生読書サポーター養成講座②読み聞かせ演習 講師: 古賀子どもの本の交流会のみなさん	歴史資料館中会議室	4人
	8	木	中学生読書サポーター養成講座③小学生むけおはなし会 講師: 古賀子どもの本の交流会のみなさん	歴史資料館中会議室 こがめルーム	4人
	21	水	夏休み小学生向けプログラミング教室(福岡工業大学連携事業) 「プログラムって何だろう」「プログラミングを体験しよう」 講師: 石塚 丈晴 さん(福岡工業大学短期大学部教授) ほか	交流館303.304和室	28人
	31	土	東医療センター連携講座 「図書館で学ぶがんシリーズ 肝臓病について勉強しよう!」 ☆ 講師: 多田 靖哉さん(消化器・肝臓内科医長)	歴史資料館中会議室	41人
10	5	土	読書ボランティア団体交流会	交流館103洋室	23人
	25(金)	}	第二十五回図書館まつり (入館者数)		2,936人
			ブックリサイクル	図書館ロビー	306人
			ぬりえコンテスト☆	図書館ロビー	115人
			図書館クイズ(11月15日まで)	図書館交流館フォーラム	122人
	27(日)	}	「移転開館25年の歩み」パネル展(11月15日まで)	交流館フォーラム	—
			子ども図書館員	図書館	6人
	26	土	小学生むけおはなし会	こがめルーム	16人
読書講演会(トークショー) 講師: 東山彰良さん ☆			交流館多目的ホール	110人	
27	日				
11	2	土	ビブリオバトル IN 古賀市立図書館	歴史資料館中会議室	バトラー 5人 観覧者 8人
12	22	日	小学生むけおはなし会	こがめルーム	7人
1	19	日	古賀市親子読書会「第51回 古賀市親子読書のつどい」	交流館多目的ホール	157人(大人75人 子ども82人)
2	1	土	暮らしの講座 「野菜づくりのコツと裏ワザその5」 ☆ 講師: 佐藤 圭さん(農山漁村文化協会)	歴史資料館中会議室	31人
			ナイトミュージアム&ライブラリー	図書館歴史資料館	49人
	5	水	新小学一年生 読書ノート配布とおはなし会	県立古賀特別 支援学校小中学部	1年生 31人 (2年生 35人)
3	2(月)～9(月)		蔵書点検	図書館	—

☆ 古賀市高齢者外出促進事業対象イベント

## <定例行事>

○どようおはなし会（こがめルーム）			
毎週土曜日	11:00～11:30	年間 45 回	953 人
○赤ちゃんおはなし会（こがめルーム）			
第 2 水曜日	①11:00～11:20	年間 22 回	306 人
	②11:40～12:00		
○小さい子のおはなし会（こがめルーム）			
第 3 水曜日	11:00～11:30	年間 11 回	106 人
○セカンドブック配布（サンコスモ古賀「すこやかホール」）			
毎月 3 歳児健診時	14:15～16:00		564 人中 473 人配布
○ブックスタート（サンコスモ古賀「すこやかホール」）			
毎月 1 回	10:30～12:00	年間 11 回	465 人参加 209 人配布
○名画会（歴史資料館中会議室）			
第 2 土曜日	14:00～	年間 11 回	393 人
○子ども映画会（歴史資料館中会議室）			
	14:00～	年間 6 回	89 人
○小学生むけおはなし会			
		年間 3 回	36 人

## <見学・職場体験>

○図書館見学		年間 7 回	552 人
○子ども図書館員	10 月 26 日	市内小学生	6 人
○中学生職場体験学習 「ドリームステージ」	9 月 12 日～9 月 13 日	古賀中学校 2 年生	3 人
○インターンシップ	7 月 23 日～7 月 25 日	古賀竟成館高等学校	4 人
	2 月 26 日～3 月 6 日	福岡女学院大学他	3 人



図書館見学（小学生）



子ども図書館員



高校生インターンシップ

## (2) 令和2年度事業計画

月	日	曜日	事業	場所
4	25	土	お楽しみ貸出し袋 子ども向け 25.26日	図書館
			小学生むけおはなし会 講師:古賀子どもの本の交流会	こがめルーム
	26	日	かばーる・ほ！さんのおはなし会 講師:仲原小学校おはなし会 かばーる・ほ！	歴史資料館 中会議室
6月～7月中旬			新小学一年生 読書ノート配布とおはなし会 ※希望する学校へは、図書館キャラクターこちゃん訪問	各小学校
6	5	金	布の絵本づくり講座 布の絵本「大きなかぶ」作り① 講師:布の絵本ボランティア つくしんぼ	歴史資料館 中会議室
	12	金	布の絵本づくり講座 布の絵本「大きなかぶ」作り② 講師:布の絵本ボランティア つくしんぼ	歴史資料館 中会議室
	19	金	布の絵本づくり講座 布の絵本「大きなかぶ」作り③ 講師:布の絵本ボランティア つくしんぼ	歴史資料館 中会議室
	26	金	布の絵本づくり講座 布の絵本「大きなかぶ」作り④ 講師:布の絵本ボランティア つくしんぼ	歴史資料館 中会議室
7	19	日	おはなし会スペシャル (市内地域文庫6団体)	歴史資料館 中会議室
7.8	未定		中・高校生によるおはなし会	未定
8	9	日	夏休み小学生向けプログラミング教室(福岡工業大学連携事業) 講師:木室 義彦さん(福岡工業大学教授)	交流館 303.304和室
9	26(土)	}	ブックリサイクル	図書館ロビー
			ぬりえコンテスト	図書館ロビー
			図書館クイズ	図書館ロビー
	26	土	家族で楽しむおはなし会 他	歴史資料館 中会議室・ギャラリー
	27	日	「図書館で落語会」 落語:粗忽家酔書(そこつやよいしよ)さん	歴史資料館 中会議室
10.11	未定		東医療センター連携講座☆	未定
11	未定		読書ボランティア団体交流会	未定
12	未定		えいごでおはなし会	未定
1.2	1/26～2/9		蔵書点検(図書館システム更新作業実施)	図書館
2	13	土	ナイトミュージアム&ライブラリー	図書館 歴史資料館
	20	土	暮らしの講座☆ 講師:福岡県司法書士会福岡東支部 会員	歴史資料館 中会議室

### <月例行事>

- どようおはなし会(こがめルーム) 毎週土曜日 11:00～11:30
- 赤ちゃんおはなし会(こがめルーム) 第2水曜日 11:00～11:20 11:40～12:00
- 小さい子のおはなし会(こがめルーム) 第3水曜日 11:00～11:30
- ブックスタート(サンコスモ古賀) 毎月1回 10:30～12:00
- セカンドブック配布 毎月 3歳児健診時(サンコスモ古賀) 14:15～16:00

### <その他>

- ☆ ○名画会(歴史資料館中会議室) 年10回(4/11・5/9・6/13・7/11・8/8・9/12・10/9・11/13・12/12・3/13)
- 子ども映画会(歴史資料館中会議室) 年7回(5/10・7/12・8/7・8/21・3/20)
- 学校図書館市民開放用一般図書配本 市内各小・中学校へ配本(年10回)
- 整理休館日(蔵書整理) 毎月第4木曜日

☆印がついている事業は古賀市高齢者外出促進事業対象イベントです。

## 12. 読書活動事業

### ◆おはなし会

子どもたちにおはなしの世界の楽しさを・・・・・・・・  
絵本の読み聞かせを中心に紙芝居、手あそびなどを交えながら楽しいひとときを過ごしています。

どようおはなし会 毎週土曜日  11:00～11:30	赤ちゃんおはなし会 第2水曜日 ① 11:00～11:20 ② 11:40～12:00	小さい子のおはなし会 第3水曜日  11:00～11:30
回数 45 回 ●参加人数 (延べ) 子ども 596 人 大人 357 人 計 953 人 平均 21.1 人	回数 22 回 ●参加人数 (延べ) 子ども 150 人 大人 156 人 計 306 人 平均 13.9 人	回数 11 回 ●参加人数 (延べ) 子ども 55 人 大人 51 人 計 106 人 平均 9.6 人

どようおはなし会、赤ちゃんおはなし会、小さい子のおはなし会は、読書ボランティア団体の協力を得て実施しています。

- ・ どようおはなし会  
第1週「こが語りの会」  
第2週「こがめ」  
第3週「咲の会」  
第4週「古賀子どもの本の交流会」
- ・ 赤ちゃんおはなし会  
赤ちゃんおはなし会「ピヨピヨ」
- ・ 小さい子のおはなし会  
小さい子のおはなし会「わにわに」



セカンドブック事業は、平成28年度から始まり、3歳の誕生日を迎えた子ども達に絵本を1冊プレゼントし、親子のふれあいの大切さや意義を伝えています。

平成31年度は、図書館のカウンターや3歳児健診時に473人に絵本を手渡すことができました。

### ◆映画会

文化遺産としての価値の高い映画作品や映画の楽しみを知ってもらおうという趣旨のもと、名画会・子ども映画会を行っています。

名画会 (一般対象)	子ども映画会 (幼児・児童対象)
上映 11 回 参加人数 (延べ) 393 人 平均 36 人	上映 6 回 参加人数 (延べ) 89 人 平均 15 人

第 61 回 こどもの読書週間 標語「ドは読書のド♪」

# 子ども読書の日イベント

4月23日は「子ども読書の日」です。  
図書館では子どもの読書活動について関心を持ち、理解を深められるよう楽しいイベントを行います。ぜひ、親子で図書館をご利用ください。

---

### 4/20(土) えいごでおはなし会

英語で絵本の読み聞かせなどを楽しみましょう  
 時間：14：00～14：30  
 場所：リーバスプラザこが歴史資料館中会議室（図書館2階）  
 講師：メラニー先生（古賀市 ALT 外国語指導助手）  
 対象：3歳以上の幼児から小学校低学年程度の子どもと保護者  
 定員：子どもと保護者で60人  
 申込方法：3月20日（水）10時から  
 図書館カウンターまたは電話にて受付を始めます  
 ※要予約・先着順・参加無料

### 4/20(土)・4/21(日) お楽しみ貸出し

赤ちゃんから10代の方まで選んだおすすめの本を袋に入れて貸出します。  
どんな本が入っているかは、袋を開けてからの楽しみ。

---

### 4/21(日) やってみよう！子ども科学実験

身の回りのいろいろなものを使った楽しい科学実験です  
 時間：14：00～15：00  
 場所：リーバスプラザこが歴史資料館中会議室（図書館2階）  
 講師：伊藤 克治さん（福岡教育大学理科教育講座教授）  
 対象：小学生と保護者  
 ※小学1・2年生は必ず保護者といっしょに参加してください  
 定員：70人  
 申込方法：3月20日（水）10時から  
 図書館カウンターまたは電話にて受付を始めます  
 ※要予約・先着順・参加無料



**主催・お問い合わせ 古賀市立図書館**  
 〒811-3103 古賀市中央二丁目13-1  
 TEL 092-942-2561 FAX 092-944-0918




えいごでおはなし会  
 講師：ONG・メラニーさん  
 （学校教育課外国語指導助手）



お楽しみ貸出し袋



「やってみよう！子ども科学実験」  
 講師：伊藤 克治さん  
 （福岡教育大学理科教育ユニット教授）



本とあそぼう全国訪問おはなし隊  
 （講談社）



**読書ボランティア養成講座**  
 講師：八尋 理恵さん（太宰府おはなし会代表）



**おはなし会スペシャル**  
 （市内6つの地域文庫のみなさん）



**小学生むけおはなし会**



**中学生読書サポーター養成講座**  
 講師：古賀子どもの本の交流会のみなさん



**夏休み 小学生向けプログラミング教室**  
 講師：石塚 文晴さん  
 （福岡工業大学短期大学部教授）



**東医療センター連携講座**  
 「図書館で学ぶがんシリーズ  
 肝臓病について勉強しよう！」  
 講師：多田 靖哉さん（消化器・肝臓内科医）



**第51回 古賀市親子読書のつどい**  
 （市内8つの小学校の親子読書会  
 会員の交流）



**暮らしの講座**  
 「野菜づくりのコツと裏ワザ その5」  
 講師：佐藤 圭さん（農山漁村文化協会）

令和元年(2019年)  
**10月25日(金) ▶ 27日(日)** 第25回 令和元年度

イベント ★は古賀市高齢者外出促進事業対象です

- ブックリサイクル**  
図書館での役目を終えた本をお譲りします。
- ぬりえコンテスト★**  
どなたでも参加いただけます。優秀作品には図書カードを差し上げます!
- 「移転開館25年の歩み」パネル展**  
移転開館した図書館を振り返るパネルを展示します。
- 図書館クイズ**  
古賀市立図書館にまつわるクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で図書カードを差し上げます。
- こども図書館員**  
26日10:30~14:00  
小学生が図書館員のお仕事を体験!(募集は終わりました。)
- 小学生むけおはなし会**  
26日13:30~14:00  
中学生読書サポーターのみなさんによるおはなし会。
- 図書館バッグ販売**  
移転開館25年を記念してバッグを作りました! 限定150個!
- 東山彰良さん読書講演会★**  
27日13:30~15:00 申込受付中!  
直木賞作家の東山彰良さんと西日本新聞社の塚崎謙太郎さんによるトークショー。

会場  
**古賀市立図書館**  
 リーパスプラザこが 交流館

主催：古賀市立図書館  
 お問い合わせ：〒811-3103 古賀市中央2丁目13-1  
 ☎ 092-942-2561 ☎ 092-944-0918

25th  
 古賀市立図書館  
 移転開館25周年



ぬりえコンテスト



「移転開館 25 周年のあゆみ」パネル展  
 於：リーパスプラザこが交流館フォーラム



古賀市立図書館移転開館 25 周年記念  
 直木賞受賞作家 東山彰良さん読書講演会  
 聞き手：塚崎謙太郎さん(西日本新聞社編集局社会部次長)  
 於：リーパスプラザこが交流館 多目的ホール



移転開館 25 周年記念  
 図書館バッグ販売

# 13. 地域文庫紹介

令和2年4月現在

文庫名	あすなろ文庫
所在地	花鶴丘3丁目区公民館
代表者	池田 頼子
設立年月	昭和59年7月
会員数	大人6人
開庫日	毎週月曜日 15時～17時
貸出冊数	延 160冊
利用者数	延 170人
蔵書数	文庫保有 1,300冊 市立図書館からの貸出し 100冊
活動報告	1 文庫活動 本の貸出し 布の絵本製作及びキット作り (ぐりとぐら車手人形キット 7 セット注文あり) 2 地域活動 4月 育成会 新一年生歓迎会にておはなし会(中止) 6月 七夕会(福祉会・子ども会合同) 7月 図書館「おはなし会スペシャル」参加 8月 夕涼会(お店を出店) 11月 三丁目文化祭に作品展示(野点をして接待) 12月 もちつき大会 2月 ウォーキング大会(おにぎり作り)

文庫名	こじか文庫
所在地	鹿部区公民館
代表者	亀川 代志子
設立年月	平成5年12月
会員数	大人6人(スタッフ)
開庫日	毎月2回 第2・第4土曜日 15時～17時
貸出冊数	
利用者数	育成会との共催行事のため、集計なし
蔵書数	文庫保有 443冊
活動報告	1 文庫活動 本の貸出し 2 地域活動 4月 新入生歓迎会 25周年イベント 星の子文庫による人形劇 7月 図書館「おはなし会スペシャル」参加 (パネルシアター「どうぞのいす」) 8月 鹿部区夏まつりへ出店 10月 運動会運営 12月 庄南区育成会クリスマス会 12月 鹿部区もちつき大会 (おはなし会と作ってあそぼう) ①しかけ絵本 「クリスマスのよるはしすかに」 ②パネルシアター「どうぞのいす」 ③大型絵本「もちつきくん」 ④作ってあそぼう 「紙皿にクリスマスツリーをつくろう」

文庫名	コスモス文庫
所在地	米多比児童館内(図書室)
代表者	村山 美和子
設立年月	平成2年3月
会員数	大人5人 子ども3人
開庫日	毎週土曜日 15時～17時
貸出冊数	延 508冊 子どもの本 368冊 大人の本 140冊
利用者数	延 142人 子ども 21人 大人 121人
蔵書数	文庫保有 子どもの本 1,550冊 大人の本 150冊 市立図書館からの貸出し 900冊(内一般 300冊)
活動報告	1 常時活動 本の貸出し、本の紹介、ブックトーク、 ブックノートの作成、文庫掲示板の活用 他 2 ブッククラブ活動 5月 ブッククラブ開き(ブックカフェ) 6月 ブッククラブ音読会(ブックサロン) 7月 ブッククラブ音読会 9月 ブッククラブ音読会 10月 秋のお話会 11月 ブッククラブ音読会 1月 冬のお話会 2月 ブッククラブ(大人のお話会に参加) 3月 児童館休館 3 児童館 こめっこまつりで絵本読み聞かせ 図書館「おはなし会スペシャル」で昔話ソングの歌と紙芝居

文庫名	しらさぎ文庫
所在地	都筵内会館
代表者	紙屋 典子
設立年月	平成元年6月
会員数	1名
開庫日	毎週火曜日 16時～18時
貸出冊数	
利用者数	
蔵書数	文庫保有 1,500冊
活動報告	1 文庫活動 制作活動 本の貸出し 「しらさぎだより」発行 2 地域活動 7月 七夕会 7月 図書館「おはなし会スペシャル」参加 8月 ダンボールハウス DE お泊り会 9月 むしろうち放生会 12月 クリスマス会 3 研修会参加

文庫名	たけのこ文庫
所在地	公務員宿舍 古賀住宅集会所
代表者	草野 三保子
設立年月	昭和 53 年
会員数	大人 24 名 子ども 40 名
開庫日	毎週月曜日 15 時 30 分～17 時 30 分 (通常) 毎月 1 回月曜日 (赤ちゃんお話し会おひざにだっこ) 10 時 30 分～11 時 30 分
貸出冊数	延べ 548 冊
利用者数	延べ 1,431 人
蔵書数	文庫保有 1,988 冊 市立図書館から貸出し 450 冊
活動報告	<p>1. 文庫活動・イベント</p> <p>4 月 たけのこ文庫たんじょう会 7 月 たけのこ文庫たなばた会 12 月 ふゆのおたのしみ会 (お話し会・人形劇) 5・6・9・10・11・2 月 クイズ大会 ★11 月 21 日 (木) 10:00～12:10: 千鳥小全 児童保護者、読書ボランティア、地域住民 『たけのこ文庫 40 周年・野間読書推進賞受賞記 念』新沢としひこさんコンサート 1 月 理科読 みみずクラブの科学実験教室 折り紙ドミノに挑戦!</p> <p>2. 地域行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千鳥小朝の読書ボランティア活動 (6 月あじさい週間・10 月もみじ週間)</li> <li>千鳥っこフェスタ、つくってあそぼう (11 月 17 日・土)「ソーマトロップとお抹茶」</li> <li>千鳥小チャレンジアンビシャス広場担当 (開庫日全対象) ±土曜日開催 5 回</li> <li>古賀市立図書館スペシャルお話し会 (7 月) ST「えんぞうぼう」(古賀の昔ばなし)</li> <li>『月を観る会』お話し会 (古賀市生涯学習推進課) 10 月リーパスプラザ</li> <li>『古賀市童謡まつり』2 月わらべうた &amp; 『にじ』合唱・コロナのため中止</li> <li>病院区春季・秋季分館レクレーションお抹茶、豚汁披露 (6 月・10 月)</li> </ul> <p>3. 子ども育成・子育て支援</p> <p>「おひざにだっこ」マタニティ・0～2 歳の親子対象 第 2 月曜 10:30～11:30 「みみずクラブ」小学生～科学・食育・エコ学習・人形劇他月 2 回月曜 17:30～</p> <p>4. 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>月 2 回実習及び企画 (朝読の勉強会も含む)</li> <li>外部講師による講座 (7 月 講師 菱木晃子氏 (スウェーデン児童文学))</li> <li>古賀市立図書館主催講座参加</li> <li>福岡「子どもの読書」関連団体連絡協議会研修参加 (会員)</li> </ul> <p>5. たけのこ文庫新聞発行 (季刊)</p> <p>6. 千鳥コミュニティ FB 掲示</p>

文庫名	星の子文庫
所在地	舞の里 5 区集会所
代表者	加藤 典子
設立年月	平成 6 年 11 月
会員数	大人 16 人 (スタッフ)
開庫日	毎週金曜日 16 時～17 時 30 分
貸出冊数	延べ 410 冊
利用者数	延べ 2,680 人 (毎週の文庫 1,480 人 おはなし会約 1,200 人)
蔵書数	文庫保有 1,200 冊 市立図書館からの貸出し 217 冊
活動報告	<p>1 文庫活動 (定例の活動)</p> <p>本の貸出し・読み聞かせ・読書クイズ・わらべうた・工作・紙芝居・季節の行事 (七夕会・クリスマス会・お月見・正月あそび・ハロウィン・たき火・文庫ごはん会)</p> <p>2 制作活動</p> <p>人形劇、影絵、ペープサートなどの制作</p> <p>3 演劇活動 (劇団☆星の子)</p> <p>保育園・小学校・病院・学童保育所 障害者などのサークル・子育てサークル</p> <p>4 広報</p> <p>おたよりの発行 (月 1 回・舞の里小学校配布・地域回覧)</p> <p>5 地域連携活動</p> <p>舞の里地区夏まつり アンビシャス広場 図書館「おはなし会スペシャル」参加 舞の里 5 区子ども会育成会</p> <p>6 総会・ミーティング・研修会</p> <p>総会 (年 1 回)・ミーティング (毎月 1 回)</p> <p>7 各種研修会への参加</p>



星の子文庫七夕会



こじか文庫おはなし会

# 14. 条例・施行規則

## 古賀市生涯学習センター条例

平成 27 年 12 月 21 日

### 条例第 37 号

(設置)

第 1 条 市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、本市の生涯学習の拠点施設として、古賀市生涯学習センター(以下「生涯学習センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 古賀市生涯学習センター

位置 古賀市中央二丁目 13 番 1 号

(施設)

第 3 条 生涯学習センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 古賀市中央公民館(以下「公民館」という。)
- (2) 古賀市立図書館(以下「図書館」という。)
- (3) 古賀市立歴史資料館(以下「歴史資料館」という。)
- (4) 古賀市交流館(以下「交流館」という。)

(事業)

第 4 条 生涯学習センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 市民の生涯学習の振興に関すること。
- (2) 生涯学習センターの利用に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、生涯学習センターの目的達成に必要なこと。

(職員)

第 5 条 生涯学習センターに必要な職員を置く。

(管理)

第 6 条 生涯学習センターは、古賀市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(使用の許可)

第 7 条 別表に掲げる生涯学習センターの施設を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可(以下「使用の許可」という。)を受けなければならない。使用の許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用の許可をしないことができる。

- (1) 生涯学習センターの設置の目的に反するおそれがあるとき。

- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。

- (3) 施設又は設備等を破損し、滅失し、又は汚損するおそれがあるとき。

- (4) その他管理運営上支障があるとき。

(使用許可の条件)

第 8 条 教育委員会は、管理上必要があると認めるとき

は、使用の許可に際し、使用の制限その他必要な条件を付することができる。

(目的外使用等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、許可を受けないで使用の目的を変更し、又は使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用の許可を取り消し、若しくは使用を制限し、又は使用の停止を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく規則若しくはこれらに基づく処分に違反し、又はこれらに基づく職員の指示に従わなかったとき。

- (2) 使用者が第 8 条の規定により付された条件に違反したとき。

- (3) 使用者が偽りその他不正な手段により使用の許可を受けたとき。

- (4) 施設の管理上又は公益上やむを得ない事由が発生したとき。

(使用料)

第 11 条 使用者は、使用の許可を受けたときは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

2 生涯学習センターの冷暖房及び設備等の使用料は、教育委員会規則で定める。

3 使用料は、教育委員会規則で定めるところにより減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第 12 条 既に納めた使用料は、これを還付しない。ただし、次に定める場合においては、その全部又は一部を還付することができる。

- (1) 災害その他使用者自らの責によらない事由により使用することができなくなったとき。

- (2) 教育委員会が施設の管理上又は公益上やむを得ない事由により使用の許可を取り消し、若しくは使用を制限し、又は使用を停止させたとき。

- (3) 使用者が教育委員会が定める日までに使用の取消し又は変更を届け出たとき。
- (4) その他教育委員会が必要があると認めるとき。
- (入館の制限)
- 第13条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる行為をする者
- (2) 火薬その他の危険物又は他人に迷惑を掛ける物品若しくは動物(身体障害者が同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項の身体障害者補助犬を除く。)を携行する者
- (3) 職員の指示に従わない者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、管理運営上支障があると認められる者
- (利用者の管理義務)
- 第14条 生涯学習センターの施設を利用する者及び使用者(以下「利用者」という。)は、その利用に係る生涯学習センターの施設、設備及び資料等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。
- (観覧料)
- 第15条 市又は教育委員会が生涯学習センターに展示する資料の観覧料は、徴収しない。
- 2 前項の規定にかかわらず、市又は教育委員会が特別な資料を展示するときは、実費相当額の範囲内において観覧料を徴収することができる。
- (損害賠償)
- 第16条 利用者は、施設、設備又は資料等を毀損した場合には、これを原状に復し、又はその損害額を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。
- (古賀市公民館運営審議会)
- 第17条 公民館に、社会教育法(昭和24年法律第207号)第29条1項の規定に基づき、古賀市公民館運営審議会を置く。
- (公民館運営審議会の委員)
- 第18条 古賀市公民館運営審議会の委員の定数、委嘱の基準及び任期は、次の各号に掲げるとおりとする。
- (1) 委員の定数は10人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱する。
- (2) 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠として委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員に特別の事情が生じた場合には、教育委員会は、任期中であっても、これを解職することができる。

(古賀市図書館協議会)

第19条 図書館に、図書館法(昭和25年法律第118号)第14条第1項の規定に基づき、古賀市図書館協議会を置く。

(図書館協議会の委員)

第20条 古賀市図書館協議会の委員の定数、委嘱の基準及び任期は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 委員の定数は8人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、識見を有する者並びに市内に住所を有する者の中から委嘱する。

(2) 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠として委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員に特別の事情が生じた場合には、教育委員会は、任期中であっても、これを解職することができる。

(委任)

第21条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## 附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成28年8月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

(準備行為)

2 第20条第1項の規定による古賀市図書館協議会の委員の委嘱に関し必要な行為は、この条例の施行前においても、同項の規定の例により行うことができる。

(古賀市公民館条例及び古賀市複合文化施設条例の廃止)

3 次に掲げる条例は、廃止する。

(1) 古賀市公民館条例(平成9年条例第44号)

(2) 古賀市複合文化施設条例(平成15年条例第25号)

# 古賀市生涯学習センター条例施行規則

平成28年1月26日

教育委員会規則第1号

改正 平成28年3月31日教委規則第5号

改正 平成28年7月1日教委規則第13号

## 目次

第1章 総則(第1条—第18条)

第2章 公民館(第19条—第22条)

第3章 図書館(第23条—第40条)

第4章 歴史資料館(第41条—第47条)

第5章 交流館(第48条・第49条)

第6章 補則(第50条)

附則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、古賀市生涯学習センター条例(平成27年条例第37号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において使用する用語は、条例において使用する用語の例による。

(開館時間)

第3条 開館時間は、次のとおりとする。

施設	開館時間
公民館 交流館 歴史資料館(中会議室・ギャラリー)	8時30分から22時まで (使用に係る事務の受付は、17時まで)
図書館	10時から18時まで
歴史資料館(展示室)	10時から18時まで (入室は、17時30分まで)

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(1) 全館休館

ア 毎週月曜日。ただし、その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日)をいう。以下同じ。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 12月28日から翌年1月4日まで

(2) 一部休館(図書館及び歴史資料館)

ア 図書及び資料等の整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その前日)

イ 蔵書点検又は展示資料等の特別整理を行う期間として教育委員会が定める期間

(使用時間)

第5条 施設の使用時間は、9時から22時まで(準備及び片付け等に要する時間を含む。)とする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(使用許可の申請)

第6条 使用の許可を受けようとする者(以下「使用申請者」という。)は、古賀市生涯学習センター使用許可申請書(様式第1号)を次に定める期日までに教育委員会に提出しなければならない。

(1) 区分貸し施設(条例別表に規定する区分貸し施設をいう。以下同じ。)

ア 生涯学習活動団体(生涯学習、ボランティア活動及び地域活動並びにこれらに類する活動を行う非営利の団体をいう。以下同じ。)並びに市民及び市内の事業所等に在職並びに市内の学校に在学する者 使用日(その日が2日以上にわたるときは、その初日。以下同じ。)の12月前の月の初日(その日が休館日のときは、その直後の休館日でない日をいう。以下同じ。)から使用日の1月前まで

イ 民間事業者 使用日の9月前の月の初日から使用日の1月前まで

(2) 時間貸し施設(条例別表に規定する時間貸し施設をいう。以下同じ。)

ア 生涯学習活動団体並びに市民及び市内の事業所等に在職並びに市内の学校に在学する者 使用四半期の最初の月の1月前の月の初日から使用日まで

イ 市内の民間事業者(社内会議・研修会、会社・求人説明会、採用試験・面接及び社員の厚生事業並びにこれらに類する目的に使用する場合に限り。) 使用四半期の最初の月の1月前の月の初日から使用日まで

2 区分貸し施設の仮予約は、前項第1号に規定する期間内に受け付けるものとし、仮予約を行った日から2月を経過する日までに使用許可の申請に係る手続がないときは、無効とする。

3 第1項の規定にかかわらず、区分貸し施設の使用に付随して時間貸し施設を使用するときは、区分貸し施設の申請の期間に準ずる。

(定期利用団体)

第7条 教育委員会は、時間貸し施設を定期的に使用する者

について、別に定めるところにより施設の予約を優先的に認めることができる。

(使用の許可等)

第8条 教育委員会は、第6条第1項及び前条第3項の規定により申請書が提出されたときは、これを審査し、使用を認めるときは、古賀市生涯学習センター使用許可書兼領収書(様式第2号。以下「許可書」という。)を当該申請者に交付するものとする。

2 施設の使用期間は、1回の使用につき連続して5日(ギャラリーにあっては、14日)以内とする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(特別な設備等)

第9条 使用者は、特別な設備をし、又は備付器具以外の器具を使用するときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用許可の取消し)

第10条 使用者が使用の許可の取消しを受けようとするときは、直ちに古賀市生涯学習センター使用取消届出書(様式第3号)に許可書を添えて届け出なければならない。

(許可を要する行為)

第11条 生涯学習センター(敷地を含む。以下同じ。)内において、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、古賀市生涯学習センター許可行為申請書(様式第4号)により、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

- (1) 寄附の募集、保険の勧誘、物品の販売、署名の収集、宣伝その他これらに類する行為
- (2) 引火性の物、爆発性の物、銃刀類その他危険性のある物を館内に持ち込む行為
- (3) テント、柵その他これらに類する物件を設ける行為
- (4) 施設又は設備を設ける行為
- (5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板若しくは立札類を設置する行為
- (6) 拡声器により放送する行為
- (7) 前各号に掲げるもののほか、生涯学習センターの管理運営上支障があると認められる行為

(禁止行為)

第12条 生涯学習センター内においては、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 面会を強要し、又は乱暴な言動をする行為
- (2) 寄附を強要し、又は押売をする行為
- (3) 施設、設備若しくは資料等を毀損し、又は生涯学習センターの美観を損なうおそれのある行為
- (4) 指定の場所以外において喫煙又は飲食等をする行為
- (5) 前各号に掲げるもののほか、生涯学習センターの管理運営上支障があると認められる行為

(職員による確認及び点検)

第13条 教育委員会は、生涯学習センターの管理運営上必要があると認めるときは、現に使用している施設内に職員を立ち入らせることができる。

2 使用者は、施設、設備及び備品等の使用が終わったときは、直ちに職員の点検を受けなければならない。

(使用料の徴収)

第14条 使用料は、許可書を交付するときに徴収する。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

2 使用の許可の内容が変更されたことにより追加で納付することとされた使用料については、教育委員会が指定する期日までに納入しなければならない。

(冷暖房及び設備等の使用料)

第15条 条例第11条第2項の教育委員会規則で定める冷暖房及び設備等の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

2 設備等の使用については、使用者は、使用状況を申告しなければならない。

(使用料の減免)

第16条 条例第11条第3項に規定する教育委員会規則で定める使用料の減免の基準は、別表第2に定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めるときは、使用料を減免することができる。

3 使用料の減免を受けようとする者は、古賀市生涯学習センター使用料減免申請書(様式第5号)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、教育委員会が適当と認める者については、この手続を省略することができる。

(使用料の還付)

第17条 条例第12条ただし書に規定する還付の金額は、次の各号に掲げる場合について、当該各号に定める金額とする。

- (1) 災害その他使用者自らの責によらない事由により、使用することができなくなったとき 使用料の全額
- (2) 教育委員会が施設の管理上又は公益上やむを得ない事由により使用の許可を取り消したとき 使用料の全額
- (3) 区分貸し施設の利用者が次に掲げる期日までに古賀市生涯学習センター使用取消届出書を教育委員会に提出したとき
  - ア 使用日の6月前 使用料の全額
  - イ 使用日の1月前 使用料の半額
- (4) 時間貸し施設の利用者が次に掲げる期日までに古賀市生涯学習センター使用取消届出書を教育委員会に提出したとき
  - ア 使用日の1月前 使用料の全額
  - イ 使用日の3日前 使用料の半額

- 2 前項の還付を受けようとする者は、古賀市生涯学習センター使用料還付申請書(様式第6号)に使用許可書を添えて教育委員会に提出し、還付の決定を受けなければならない。ただし、前項第1号又は第2号に規定する場合には、この手続を省略することができる。

(損害賠償)

- 第18条 利用者は、施設、設備又は資料等(図書館資料(図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。以下同じ。)を除く。)を汚損、破損又は滅失したときは、直ちに古賀市生涯学習センター汚損・破損・滅失届(様式第7号)により教育委員会に届け出なければならない。

## 第2章 公民館

(事業)

- 第19条 公民館は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第22条に定めるもののほか、次に掲げる事業を行う。

- (1) 公民館類似施設の活動支援及び整備助成に関すること。
- (2) その他公民館の目的達成に必要な事業に関すること。

(職員)

- 第20条 公民館に館長、主事その他必要な職員を置くものとする。

(古賀市公民館運営審議会)

- 第21条 古賀市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)の委員の互選により、審議会に会長及び副会長を各1人置く。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(審議会の会議)

- 第22条 審議会の会議(以下この条において「会議」という。)は、必要に応じて会長がこれを招集し、その議長となる。

- 2 会長は、前項の規定による招集をする場合においては、会議開催の日時、場所及び会議に付議すべき事件をあらかじめ委員に通知しなければならない。ただし、急を要する場合は、この限りでない。
- 3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 4 会議の議決は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 5 その他審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

## 第3章 図書館

(事業)

- 第23条 図書館は、図書館法第3条に定めるもののほか、次に掲げる事業を行う。

- (1) 図書館の利用案内、図書館資料の紹介等を行うこと。
- (2) 市内の地域文庫の育成及びその活動に対する支援を行うこと。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、図書館の設置目的を達成するために必要なこと。

- 2 前項の規定にかかわらず、文献の解説、翻訳、学習課程の解答その他回答することが不適当と認められる事項に係る依頼に対しては、回答を行わないものとする。

(職員)

- 第24条 図書館に館長、司書その他必要な職員を置くものとする。

(改正(平28教委規則第5号))

(館内利用)

- 第25条 利用者は、図書館の所定の場所において、図書館資料を利用することができる。

(図書館資料の複写)

- 第26条 著作権法(昭和45年法律第48号)第31条第1項に規定する図書館資料の複写を依頼しようとする者は、館長に古賀市立図書館資料複写申込書(様式第8号)により申し込み、古賀市手数料条例(平成12年条例第6号)第2条第1項に規定する手数料を負担しなければならない。

- 2 複写物の使用により著作権法上の問題が生じた場合は、当該複写を申し込んだ者がその責任を負うものとする。

(館外貸出しを利用できる個人)

- 第27条 図書館資料の館外貸出しを受けることができる個人は、次に掲げる要件のいずれかに該当し、かつ、次条の規定により利用者登録されたものとする。

- (1) 市内に住所を有する者
- (2) 福岡地区公共図書館等の広域利用に関する協定を締結した市町に住所を有する者
- (3) 市内の事業所等に在職又は市内の学校に在学する者
- (4) 市内の身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者更生援護施設に1年間以上継続して入所する者

(個人の利用者登録等)

- 第28条 利用者登録を受けようとする者は、前条各号のいずれかに該当することを確認できる書類(以下「確認書類」という。)を提示して古賀市立図書館利用者カード交付(変更・再交付)申請書(様式第9号。以下この条において「申請書」という。)を図書館の館長(以下この章において「館長」という。)に提出しなければならない。

- 2 館長は、前項に規定する申請を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、当該申請者を利用者登録し、古賀市立図書館利用者カード(以下「利用者カード」という。)を交付する。
- 3 利用者カードの有効期間は、前項の規定による交付を受けた日から3年間とする。ただし、確認書類において申請書の記載事項等に変更がないことが確認できたときは、有効期間を更新することができる。
- 4 第2項の規定により利用者登録された者(以下「登録者」という。)は、利用者カードを紛失したとき又は申請書の記載事項等に変更を生じたときは、申請書により速やかに館長に届け出て、利用者カードの再交付又は変更を受けなければならない。
- 5 前項の再交付を受けようとする者は、交付に必要な実費として100円を負担しなければならない。
- 6 登録者は、利用者カードを他の者に貸与又は譲渡してはならない。この場合において、利用者カードが登録者本人以外の者に使用され、図書館資料の紛失等の損害が生じたときは、その責めは当該登録者本人に帰するものとする。

(館外貸出しの制限)

第29条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外貸出しをしない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 参考図書、文書資料、逐次刊行物(新聞、地図、年鑑に類するものをいう。)
- (2) 特に貴重な資料
- (3) その他館長が特に指定した図書館資料

(貸出期間及び冊数)

第30条 登録者が館外貸出しを受けることができる期間は、貸出日から起算して15日以内、貸出しを受けることができる冊数は、一人につき10冊以内とする。ただし、館長が必要と認めるときは、期間及び冊数を別に定めることができる。

2 前項の期間中に貸出しを受けている図書館資料(映像資料及び音声資料を除く。)について、別に貸し出し予約がない場合に限り、館長が定める手続きにより、引き続き館外貸出しを受けることができる。

(館外貸出しの取消し等)

第31条 教育委員会は、登録者が次の各号のいずれかに該当する場合は、利用者登録を取消し、又は館外貸出しを停止することができる。

- (1) 第27条の利用者登録の要件を満たさなくなったとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により利用者登録を受け、又は第28条第6項前段に規定する不正な行為をしたとき。

(3) 館外貸し出しを受け、前条に定める期間内に返却しないとき。

(館外貸出しを受けることができる団体)

第32条 図書館資料の館外貸出しを受けることができる団体は、第36条に規定する地域文庫、市内の地域団体、職員団体、社会教育関係団体、福祉団体その他の団体のうち館長が適当と認めるもので、かつ、次条の規定により利用者登録を受けたものとする。

(団体の利用者登録等)

第33条 利用者登録を受けようとする団体の代表者は、当該代表者の確認書類を提示して古賀市立図書館利用者カード交付(変更・再交付)申請書及び古賀市立図書館団体利用登録(変更)申請書(様式第10号)を館長に提出しなければならない。

2 館長は、前項に規定する申請を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、当該団体を利用者登録し、利用者カードを交付する。

3 利用者カードの有効期間は、前項の規定による交付を受けた日から1年間とする。

4 第28条第4項及び第5項の規定は、団体の利用者カードの再交付又は変更を受ける場合についてこれを準用する。

5 第2項の規定により利用者登録をした団体(以下「登録団体」という。)は、利用者カードを当該団体の活動以外の目的のために使用してはならない。この場合において、登録団体以外のものに使用されたことにより図書館資料の紛失等の損害が生じたときは、その責めは当該登録団体に帰するものとする。

(団体貸出しの貸出冊数等)

第34条 団体貸出しの対象とする図書館資料の種類、貸出冊数、貸出期間等は、教育委員会が定める。

(登録団体における図書館資料の管理)

第35条 団体貸出しを受けた登録団体の代表者は、当該図書館資料の管理について、その責任を負うものとする。

(地域文庫等)

第36条 地域文庫(地域等において読書活動を主たる目的として自主的に運営する団体をいう。)は、図書館に登録することにより団体貸出しの他必要な図書館の支援を受けることができる。

2 地域文庫の代表者は、前項に規定する登録を受けようとするときは、地域文庫登録申請書を館長に提出しなければならない。

3 地域文庫の代表者は、登録事項を変更し、又は登録を解除しようとするときは、地域文庫登録変更(解除)届により館長に届け出なければならない。

4 団体貸出しを受けた地域文庫の代表者は、館長の指示により当該図書館資料の利用等について報告しなければならない。

(寄贈又は遺贈)

第37条 図書館は、図書等の寄贈又は遺贈の申出があった場合は、館長が適当と認めたときに、これを受納することができる。

- 2 前項の規定により図書等の寄贈又は遺贈を受けたときは、当該図書等に寄贈者又は遺贈者の氏名及び寄贈又は遺贈の年月日を記載して、その篤志を表示することができる。

(図書館資料の弁償)

第38条 図書館資料を紛失し、又は毀損し、若しくは甚だしく汚損した場合の条例第16条の適用については、代替品の提供又はその購入代金として教育委員会が相当と認める額による弁償により行うものとする。

(古賀市図書館協議会)

第39条 古賀市図書館協議会(以下「協議会」という。)の委員の互選により、協議会に会長及び副会長を各1人置く。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第40条 協議会の会議(以下この条において「会議」という。)は、必要に応じて会長がこれを招集し、その議長となる。

- 2 会長は、前項の規定による招集をする場合においては、会議開催の日時、場所及び会議に付議すべき事件をあらかじめ委員に通知しなければならない。ただし、急を要する場合は、この限りでない。
- 3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 4 会議の議決は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは会長の決するところによる。
- 5 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って決める。

#### 第4章 歴史資料館

(事業)

第41条 歴史資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、民俗等に関する資料(以下この章において「資料」という。)の収集、整理保管及び専門的調査研究に関すること。
- (2) 資料に関する展示会、講演会及び講習会等を開催し、並びにその開催を支援すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史資料館の設置目的を達成するために必要なこと。

(改正(平28教委規則第5号))

(職員)

第42条 歴史資料館に館長その他必要な職員を置くものとする。

(改正(平28教委規則第5号))

(資料の館外貸出し)

第43条 歴史資料館が保管する資料の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、教育、学術又は文化に関する機関、団体等から申出があった場合は、この限りでない。

(資料の撮影等の許可)

第44条 歴史資料館に展示され、又は所蔵されている資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

(資料の寄贈若しくは遺贈又は寄託)

第45条 歴史資料館は、資料の寄贈若しくは遺贈又は寄託を受けることができる。

- 2 前項の規定により寄贈又は遺贈を受けたときは、当該資料に寄贈する者又は遺贈者の氏名及び寄贈又は遺贈の年月日を記載して、その篤志を表示することができる。
- 3 歴史資料館に資料を寄託しようとする者は、資料寄託申請書により教育委員会にその旨を申し出なければならない。
- 4 前項の申出について教育委員会が適当と認めたときは、これを受納し、寄託資料受領書を当該寄託した者(以下「寄託者」という。)に交付するものとする。
- 5 前項の場合において、寄託を受けた資料の取扱いは、特別の条件がある場合のほか、他の資料と同様の扱いをするものとする。

(寄託期間)

第46条 前条第1項の規定により寄託することができる期間は、館長が寄託者と協議して定める。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認める場合は、当該寄託を受けた資料を返還することができる。

(寄託資料の免責)

第47条 寄託資料が天災その他やむを得ない理由により、毀損又は滅失した場合は、市はその責めを負わないものとする。

#### 第5章 交流館

(事業)

第48条 交流館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 施設の貸出しに関すること。
- (2) 学習の場の提供に関すること。
- (3) 学習機会の提供その他市民の生涯学習活動を支援及び推進すること。

(職員)

第49条 交流館に必要な職員を置くものとする。

## 第6章 補則

(補則)

第50条 この規則に定めるもののほか、生涯学習センターの管理及び運営等に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

## 附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成28年8月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

(古賀市公民館条例施行規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 古賀市公民館条例施行規則(平成9年教育委員会規則第13号)

(2) 古賀市複合文化施設条例施行規則(平成16年教育委員会規則第1号)

(3) 古賀市複合文化施設運営協議会設置規則(平成23年教育委員会規則第17号)

以下省略

# 15. 古賀市図書館協議会

(1) 設置趣旨

図書館法(昭和25年法律第118号)第14条第1項の規定に基づき設置し、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に意見を述べる機関とする。

(2) 構成内容

古賀市図書館協議会は、古賀市生涯学習センター条例第20条第1項第1号に基づき、定数8人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、識見を有する者並びに市内に住所を有する者の中から教育委員会が委嘱する委員をもって組織する。

(3) 委員の任期

古賀市生涯学習センター条例第20条第1項第2号に基づき、委員の任期は2年とする。ただし、補欠として委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(4) 古賀市図書館協議会委員名簿(平成30年8月1日から令和2年7月31日まで)

氏 名	所 属 等
安 部 由美子	古賀市立小中学校校長会
村 山 美和子	社会教育委員の会議
碓 幸 子	読書ボランティア
亀 川 代志子	読書ボランティア、保育士
鈴 木 章	福岡教育大学 非常勤講師(会長)
河 村 正 彦	元近畿大学および近畿大学大学院教授
久池井 良 人	元福岡市総合図書館長(副会長)
諸 井 ゆき子	公募(市内に住所を有する者)

(平成30年8月1日付)

(5) 平成31年度(令和元年度)の活動実績(4回開催)

令和元年 5月21日 第1回 古賀市図書館協議会  
令和元年 8月20日 第2回 古賀市図書館協議会  
令和元年10月29日 第3回 古賀市図書館協議会  
令和2年 2月18日 第4回 古賀市図書館協議会

## 案内図



最寄り駅 鹿児島本線古賀駅東口から徒歩6分

高速道路 九州自動車道古賀インターから車で5分

駐車場 収容台数:250台

※駐車場の利用方法は、公演等で内容が変更になる場合がありますのでご注意ください。

# 図書館要覧

2020(令和2)年10月 発行

〒811-3103 福岡県古賀市中央2丁目13番1号

## 古賀市立図書館

TEL 092(942)2561

FAX 092(944)0918

# 書架の案内



古賀市生涯学習センター 古賀市立図書館